

# 外部検証委員会（資産形成分野）次第

日時 令和元年 5 月 24 日（金）午後 3 時 30 分から  
場所 益子町役場 2 階大会議室

1 開会

2 出席者紹介

3 配布資料の確認

4 案件

(1) 概要説明（教育長・産業建設部長(農政課長)）

(2) 施策ごとの検証（シート每ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）

(3) 新ましこ未来計画の一部改訂について（概要説明：事務局、質疑対応：担当課）

(4) その他

5 閉会

## 配布資料

- 1 本次第
- 2 新ましこ未来計画の一部改訂について

## 外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式 2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後 10 日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（資産形成分野）発言要旨

日時	令和元年 5 月 24 日(金) 15:30～16:30	
場所	役場 大会議室	
出席者	委員	大岡委員、添谷委員、日渡委員（欠席：濱田委員）
	職員	岡教育長、大塚農政課長、福田観光商工課長、飯村建設課長、桜井生涯学習課長
	事務局	日下田課長、島崎
配布資料	次第、推進状況総括シート、推進シート、新ましこ未来計画の一部改訂について	

発言者	発言要旨
教育長 農政課長	<p><b>1. 開会</b></p> <p><b>2. 出席者紹介</b></p> <p><b>3. 配布資料確認</b></p> <p><b>4. 案件</b></p> <p>（1）概要説明 総括シートにより説明</p>
委員	<p>（2）施策ごとの検証</p> <p><b>OP.56 施策1 歴史や文化財の活用</b></p> <p>ましこ検定の受験者数の目標は170人ということでしょうか。</p>
生涯学習課長	今年度及び来年度は当初100人と計画していたが、中学1年生の8割以上が受験することを見込み170人とした。
委員	平均点はどのくらいか。
生涯学習課長	中級は全員7割以上の得点である。中学生は178名受験し合格者は30名、合格率16.9%であった。
委員	社会科副読本の内容を習得していると、8割以上できるのではないかと。
生涯学習課長	ほぼ副読本から出題している。内容を習得していれば、7割以上はとれるよう作成している。中学生の受験者のうち6割以上得点したのは88名、49.8%であるが、7割に達する生徒は少ない。中学生の合格率が上がるよう、学校と調整し対策をとりたい。
委員	世間遺産の看板は、初年度は生涯学習課職員の手づくりであったが、現在も手づくりなのか。

生涯学習課長	現在も手づくりである。以前は「ましこ世間遺産」の文字のみであったが、何が認定されているのかわかりにくいとの声があったため、現在は認定されたものの名前も掲示している。
委員	世間遺産の看板は、自然に溶け込んだ標識となっている。
委員	看板の設置を拒否されたということはあったか。
生涯学習課長	これまでに設置拒否はないが、小宅から自作したいと申し出はあった。もともと看板づくりは小宅の方から学んでいるため、色や文字等は統一感されている。
委員	今年度もましこ検定の中級は実施する予定か。
生涯学習課長	実施予定である。内容は一部変更するが、これまでと同じ方式で実施する。中学生の中級受験も歓迎する。会場は中学校ではなく、一般の方と同じ会場だと考えている。
委員	広報紙の文化財シリーズについて、写真も含め、大変すばらしいと感じている、これからも続けていただきたい。
委員	文化財等のシリーズが終わった際には、冊子にまとめていただきたい。
教育長	過去にシリーズでまとめることはあったか。
企画課長	これまでまとめたことはないが、可能であると考えられる。
委員	有料でも一般の方で欲しがる方もいるのではないか。
委員	<b>○P. 57 施策2 風土や風景、風習の継承</b> アカマツ復活プロジェクトについて、小学生は普段やらないことをやる良い体験だと思うが、鉋を使用しているのか。
委員	鉋は使わず、鋸と鎌を使用している。
教育長	安全面も配慮されている。
委員	小学生はいきいきとしている。昔は、学校林の下草刈りがあった。苦労があったが今では良い思い出、感受性の強い子供の頃に体験したことが郷土愛につながり、Uターンに繋がればよいと思う。結果が出ているので、継続で良いのではないか。

	<p><b>○P. 58 施策1 ましこのランドスケープデザインの作成</b></p>
委員	5月15日に開催したランドスケープデザインに関する講演会の一般住民の参加者数はどれくらいか。地元の講師の方で内容も良かった。
建設課長	一般住民と役場職員合わせて125人の参加であった。自治会へのPR、関係団体へ直接通知を出し、招集をかけた。講師は大沢出身の小埜氏、町長と旧知であり、講師を依頼した。平成30年度からの付き合いとなる。
委員	豆田橋の架け替え工事発注不調とはどのようなことか。
企画課長	橋の工事を下部と上部合わせて入札をかけたところ、応募がなかった。現在は下部のみ発注し、今後上部の発注を予定している。
	<p><b>○P. 59 施策2 特性をいかした地域創生</b></p>
委員	亀岡八幡宮のトイレを設置し、地元では大変喜んでいる。工事費はどのくらいか。また、集落排水に繋がっているのか。
生涯学習課長	工事費は1,000万円余り。浄化槽である。今春は来場者が10,000人を超え、トイレが出来て良かったとの声がある。去年は5,000人ほどであり、来場者が倍増した。地元の方の頑張りで、口コミで広がっているようである。
委員	トイレの維持費は、行政になるのか。
生涯学習課長	行政はトイレの設置のみで、地元の里山の会が中心となり消耗品や清掃等の維持をしている。
委員	以前から使用している簡易トイレも利用できるよう、頂上付近に設置しているようだ。
生涯学習課長	伐採した竹を用いて子どものおもちゃを作り、子供たちは喜んでいるようだ。
委員	伐採した竹は、益子図書館友の会で雛めぐりの際に利用している。竹林はなくなるのか。
委員	多少残すようだ。タケノコの販売もしているようだ。
委員	これまで自分たちの力で実施してきたことがすばらしい。年々進化しているように思う。秋には彼岸花も咲くとのことで、工夫していると思う。観光地は作るものであり、作っていかないと発展していかないとと思う。

委員	<p><b>○P.60 施策1 町のブランドイメージの確立</b></p> <p>市町村の魅力度ランキングは上がっているのか。</p>
観光商工課長	<p>ランキングは下がっている。その町を知っているか、魅力を感じるかという項目でランキングが決まる。調査対象に選ばれた方が益子を知っている方が多い場合は、ランキングが上がる。町全体の事業や観光に対しての魅力ではない。</p>
委員	<p>ランキングに囚われない方が良いと思う。栃木県も努力しているようだが、魅力度ランキングが上がらないようである。大嘗祭で知名度が上がるのではないか。</p>
観光商工課長	<p>西日本で北関東の知名度が低ということもあり、今年度、県では大阪事務所を立ち上げ、PRをしている。本町でもパンフレットを送るなど知名度の向上を図っている。</p>
委員	<p>ゴールデンウィークの際、観光地の天気予報に益子町も取り上げられており驚いた。</p>
観光商工課長	<p>10連休ということもあり、有名観光地として雑誌等でも取り上げられた。陶器市の来場者数の平均は一日当たり 45,000 人前後。雨天及び最終日の来場者が少なく、例年に比べ来場者の引き上げが早いようであった。</p>
事務局	<p><b>(3) 新ましこ未来計画の一部改訂について</b></p> <p>ましこ検定の受験者数について、これまでの実績により改訂を考えている。</p>
委員	<p>このまま進めていただいてよい。</p>
事務局	<p><b>(4) その他</b></p> <p>外部検証・意見シートは10日程度を目安にご提出を願いたい。</p>
	<p><b>5. 閉会</b></p>